

第1回研究授業・討議会を終えて

H.27.07.01 中原 勇治

1. 発表力を鍛える

- ・ペア発表やグループ発表は比較的できている
- ・全体への発表になると、声が小さくなる
- ・全体ではなく先生に向かって発表している

→ 全体に向かって堂々と発表できる力（発表力）を育てる必要がある

① 日常的指導の積み重ね（声を出す・発表するのがあたり前になるようにする）

- ・あいさつ・返事
- ・音読、名文詩文の暗唱、1分間スピーチ
- ・一文交代読み、形式段落交代読み（列ごと、班ごと、おとなりと）
- ・列指名（席順）による発表、相互指名による発表、指名なし発表 など

② 「相手意識」を持たせる（先生ではなく、みんなに向かって）

- ・おへそをみんなに向けて
- ・一番遠くの人に向かって
- ・聞いていない人がいたら「〇〇さん聞いてください」と言わせる。
（発表を聞かせるのは発表者の責任）
- ・声が小さかったら、「〇〇さん聞こえませんか」「もう少し大きな声で言ってください」と言わせる。（発表を聞くのは、聞く人の責任）

2. 交流活動（話し合い活動）をどう進めていくか

○意見をどうつなげていくか

○出された意見をどうまとめていけばよいか

<交流型>

- ・発表（意見＋理由） → ハンドサイン（賛成・付け加え・反対）
→ 「「**い**」**な**」**せ**な意見」はどれか選ばせる＋その理由
→ 最終意見（話し合いあった結果、今の考え＋理由）
- ・立場ごとに意見を言わせる → 賛成・付け加え → 質問・反論（なぜ？）
→ 「「**い**」**な**」**せ**な意見」はどれか選ばせる＋その理由
→ 最終意見（話し合いあった結果、今の考え＋理由）

<討論型>

- ・発表（意見＋理由） → → 賛成・付け加え → 質問・反論（なぜ？）
→ 「「**い**」**な**」**せ**な意見」はどれか選ばせる＋その理由
→ 最終意見（話し合いあった結果、今の考え＋理由）

○教師の役割 … 板書で子どもの意見を整理する（交通整理）

- ・意見をまとめる・収束させる際の基準（「**い**な**せ**な意見」）

- ・「**い**いなと思う意見」
- ・「**な**っとくできる意見」
- ・「**せ**っとく力がある意見」

3. 「読みの観点」をどう授業に生かすか

- ・「読みの観点」を教える授業と「読みの観点」を活用した授業
- ・「読みの観点」のミニ研修（5分程度）を随時（会議・研修会の後など）

4. どの子も参加できる授業・どの子も「できる」「わかる」授業をするために

（1）授業のユニバーサルデザイン化

- ・発達障害がある子だけでなく、すべての子にとって参加しやすい、わかりやすい授業
- ・授業で起きる「つまずき」を徹底的に想定する
 - ・どの子にも起きるつまずき
 - ・特定の子に起きるつまずき ← 特別支援教育の知見が必要
- ・「聞くだけの時間」を減らす ⇒ 「考える時間」「作業する時間」を増やす
⇒ 「**焦点化**」「**視覚化**」「**共有化**」

「**焦点化**」… 指導する内容を絞り込み、明示的に教える

「**視覚化**」… 写真や挿絵・動画、動作化を内容に応じて効果的に使う

「**共有化**」… 話し合い活動を組織化する



ポイント、ポイントで子どもたちの理解をそろえていく

隣同士などで意見を確認しあう等、すべての子どもの理解を図る

「**教材のしかけ**」をつくる

（例）段落や文の順序を入れ替えて示す

キーワードをわざと間違えて示す など

（2）協働的な学習を取り入れる

- 他者と力を合わせたり交流したりして協働的に学ぶ学習
- 互いに自分の考えをはっきりと伝えあい、その考えをしっかりと聞き合い、互いの考えの関係を明らかにしながら考えを再構成すること
- 授業の中に「インタラクション（相互作用）」と「リフレクション（振り返り）」を入れる
 - ・有効な手段 … **思考ツール**の活用
 - ・思考の整理（思考の見える化）
 - ・使用する際の配慮事項
 - ・必然性、整合性、簡便性、充足性
 - ・学習形態 … 人数、情報の質と量、情報の処理スペース

- ・思考ツールの特性
 - ①情報の可視化
 - ②情報の操作化

○思考ツールを活用する子どもの成長のステップ

- ① 教師が用意した思考ツールを活用して考える
- ② 子どもが自ら思考ツールを選んで考える
- ③ 子どもが複数の思考ツールを組み合わせで考える
- ④ 子どもがオリジナルな思考ツールを開発して考える
- ⑤ 子どもが思考ツールを使わずに考える

< 参考文献 >

○「読みの観点」に関して

- ・『“夢”の国語教室創造記』二瓶弘行 東洋館出版社
- ・『二瓶弘行の国語授業のつくり方』二瓶弘行 東洋館出版社
- ・『二瓶弘行の物語授業づくり一日講座』二瓶弘行 ぶんけい
- ・『二瓶弘行の説明文授業づくり一日講座』二瓶弘行 ぶんけい 他同シリーズ

○「国語の授業づくり」に関して

- ・『思考力、表現力を育てる文学の授業 「読むこと」の言語活動開発に向けて』
吉川芳則・大江平治編著 三省堂

○「授業のユニバーサルデザイン化」に関して

- ・『授業のユニバーサルデザイン入門』小貫悟・桂聖 東洋館出版社
 - ・『国語授業のユニバーサルデザイン』桂聖 東洋館出版社
 - ・『教材に「しかけ」をつくる国語授業10の方法 文学アイデア50』桂聖編著 東洋館出版社
 - ・『教材に「しかけ」をつくる国語授業10の方法 説明文アイデア50』桂聖編著 東洋館出版社
- 他

○協働学習・思考ツールについて

- ・『授業を磨く』田村学 東洋館出版社
- ・『関大初等部式 思考力育成法ガイドブック』関西大学初等部 さくら社
- ・『思考ツール 関大初等部式思考力育成法＜実践編＞』関西大学初等部 さくら社
- ・『思考ツールを使う授業 関大初等部式思考力育成法＜教科活用編＞』関西大学初等部 さくら社